

JADA加盟団体 2023年度アンチ・ドーピング教育年間計画 【策定ガイド】

2022年11月 日本アンチ・ドーピング機構



【本件に関するお問い合わせ先】
JADA教育部

E-mail : JADA-Education@playtruejapan.org

教育年間計画 運用サイクル

①教育年間計画策定・提出

②計画内容へのガイダンス、適正性の検証

③進捗の確認、教育アクティビティ実施報告等

④実地オブザーブ、フィードバック等

⑤年次の自己評価・報告

⑥達成度の確認・評価等

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



WADA監査への
対応
国内活動報告



日本規程
署名当事者

JOC, JPSA/JPC,
JSPO,NF

ドーピングに対するリスク等によって、JADA加盟団体をグループに分けて管理

②④⑥は各グループによって「実施年度」、「目標とする達成度」が異なります

2023年度 教育年間計画の提出

① 日本スポーツ振興センター（JSC）のスポーツ振興くじ助成金（toto助成）・スポーツ振興基金助成金の助成を申請する加盟団体（NF）の場合

交付申請書類とあわせ、「組織図（アンチ・ドーピング委員会が明示されているもの）」
「最新のアンチ・ドーピング委員名簿」「2023年度教育年間計画」を、[JSCへ直接提出](#)することが助成申請時には求められます。

提出期限 それぞれの助成金申請時に併せて提出

② ①に該当しない、JADA加盟団体（NF）の場合

「2023年度教育年間計画」を[JADA \(jada-education@playtruejpana.org\)](mailto:jada-education@playtruejpana.org)へ[直接提出](#)ください

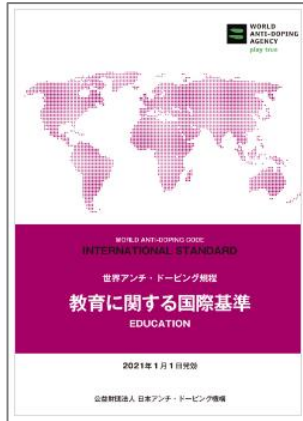
提出期限 2023年1月13日（金）

教育計画のフォーマットは、必ず「2023年度版」を使用ください。
JADAのWEBサイトからダウンロードください

2023年度教育計画策定 提出内容とステップ°



参考となる資料



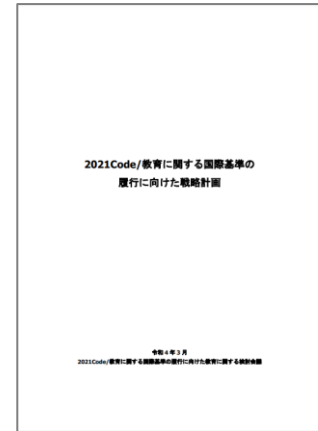
教育に関する国際基準

https://www.playtruejapan.org/entry_img/kyouiku_jp.pdf



Guidelines for the International Standard for Education

https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/guidelinesforeducation_final.pdf



2021Code/教育に関する国際基準の 履行に向けた戦略計画

https://www.playtruejapan.org/activity/plan_2021code.html

教育年間計画策定のステップ°



1. **教育ターゲット**を設定する



2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する



3. **教育アクティビティ**を計画する



4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する

承認Educatorが担う



5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する



6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する



7. **モニタリングと評価**を設定する



8. 計画を**共有**する
(団体内、JADA)

承認Educatorが担うステップ以外を、教育年間計画に記載

2023年度 教育年間計画フォーマット

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(役職) XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与え、アスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテリゲンシアを表明、体験できる。アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテリゲンシア教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが確実にスポーツに定着し、また次世代のアスリートへ良い影響を与えらるべきプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する。今後、派遣の前の教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ。 ●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる。

クリーンスポーツ教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知性、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯通して楽しむことができるもの。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人財を向上させ続けることができる。それらを通して、自分で意思決定できる。また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどうよに活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を作ることができる。教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。
---------------	---

- 年間計画に記載のないものは、添付資料で可。
- 教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリーに基づき、上欄によって、ご所属に該当するカテゴリーを選択してください。

8 計画を共有する

ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成年を 含む	ターゲットに 関する 証書	教育ターゲット における成果、 ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	教育 アクティビティ の提供 ＜プログラム＞	教育実施者 ※対面教育（オンライ ン）の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ のタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法		希望するJADA との連携 ＜プログラム＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
															定量	定性		
国際競技連盟（IF） 主要国際競技大会	↑				2024年大会の出場権 獲得と関係する大会	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 （ロンドンイリ ス）	●11月10日（土）に 対して、アスリートとサ ポートスタッフの両方 を対象に教育プログラム を実施する。	山田 伸	2023年8月1日 まで	東京五輪ナショナル トレーニングセン ター（東京）	国際ヘルムアスリート ガイド	ADEL国際ヘルムアス リートガイド Factsheet	派遣するアスリートとサ ポートスタッフの両方 を対象とした教育プログラム	・参加人数 ・学習者フィードバック ・教育実施者のフィードバック	●参加人数 ●教育実施者からの フィードバック ●学習者フィード バック			
1 教育ターゲットを設定する																		
2 各ターゲットの年度目標を設定する																		
3 教育アクティビティを計画する																		
4 アクティビティ目標を設定する																		
7 モニタリングと評価を設定する																		

2023年度 教育年間計画の入力必須欄

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(印欄)		XXX

教育プログラム全体の目的

強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを築き、体現できる。アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。

2023年度の競技団体としての教育の達成目標

- バド2024への出場権がかった国際競技大会について、派遣前の教育を確実に実施する
- 今後、派遣前に教育を受けることが必要となる。アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者等全員に共通認識を持つ
- クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる

報告年度 2023

クリーンスポーツ教育の目的

教育プログラムを通して、学習者は、知識、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人間性を向上させることができる。それらを通して、自分で意思のある意思決定ができる。また、スポーツの価値、スキルを自分の生活方法にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムを通して、結果的にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。

計画教育を実施する団は、必ず承認Educatorが定期的に研修を受けてください

ターゲットのカテゴリー	教育ターゲット	人数	未成年を含む	ターゲットに関する事項	教育ターゲットにおける実施、ニーズ<取組分析>	教育ターゲットに対する年度目標	研修内容 された教育 要件	教育アクティビティの提供 <プログラム>	教育実施者 ※対面教育(オンライン等)の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価方法		希望するJADAとの連携 <プログラム>	メモ ※アクティビティ計画の のねらいなど記載									
												クリーンアスリートガイド <プログラム>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性											
E 国際競技大会(バド)実施国競技大会への派遣アスリートおよび 参加サポートスタッフ 5年次割合含む	2023 世界選手権 派遣アスリート サポートスタッフ	15	0	大会開催: 2023年11月 XXX日~11月 YYY日 (ロンドンバド) X)	・前半練習前と後半、海外会場に出るアスリートが多いため、アスリートは必ず事前に研修、研修を受ける必要がある ・競技大会出場のための事件が決められている ・JADA、RTAが実施されるため、研修が実施されていることを確認する	●1日の研修について、ルールを学ぶ ●研修終了後、アスリートは必ず事前に研修、研修を受ける必要がある ●研修終了後、アスリートは必ず事前に研修、研修を受ける必要がある	A-1 初級者ワークショップ (オンライン)	山田 博	2023年8月1日 まで	高野山ナショナルトレーニングセンター (東京)	国際バド連盟アスリートガイド	ADELトレーニングパス Fastball	派遣するアスリートサポートスタッフの100%が初級者ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習者アンケート ・教育実施者からのフィードバック	・参加人数 ・参加者アンケート	●教育実施者からのフィードバック ●学習者アンケート			【研修内容】 JADAアスリートサポートスタッフの研修 JADA RTA研修									
																				A-2	NPIのメンタリングリスト	2023年6月末	—	派遣するアスリートサポートスタッフの100%がJADAアスリートサポートスタッフのメンタリングリストに参加する	メンタリングリスト参加者のフィードバック			【研修内容】 JADAアスリートサポートスタッフの研修 JADA RTA研修
																				A-3	NPIのメンタリングリスト	2023年9月末	—	派遣するアスリートサポートスタッフの100%がJADAアスリートサポートスタッフのメンタリングリストに参加する	メンタリングリスト参加者のフィードバック			【研修内容】 JADAアスリートサポートスタッフの研修 JADA RTA研修

- ◆ フォーマット上で色がついている欄は入力必須欄
- ◆ それ以外の欄については、現時点で入力できる範囲で入力

**教育プログラム全体の目的
2023年度の競技団体としての
教育の達成目標**

2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(印)		XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに拠り、スポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する(注)には、更に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表明、体験できる。アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育(その中のアンチ・ドーピング)を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートサポートスタッフが確実にスポーツに還元し、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ ●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認候補に参加させる

クリーンスポーツ教育の目的	<p>教育プログラムを通して、学級生は、4歳、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯を通して楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモーションスキルを学び、ライフスキルとして人権を向上させ続けることができる。それらを基に、自分で意思のある意思決定ができる。</p> <p>また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどのように活用できるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。</p> <p>教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体験していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。</p>
---------------	--

- 年間計画に記述のないものは、原則実行していません
- 教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリーに基づく上層によって、ご報告に添った場合が異なります
- JADA-Educatorの派遣には要件があります(検討の際は、事前にご確認ください)

本年度の人数を記載してない、人数が不明な場合は、「/」でも構いません										異なるターゲットに合同（共通）の研修会を実施する場合は、同一であることがわかるように、同じ番号を入れてください				Educatorが定性的な評価を行ってください						
ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年を含む	ターゲットに関する証書	教育ターゲットにおける資源、ニーズ<観察分析>	教育ターゲットに対する年度目標	IPから提供された教育資料		教育アクティビティの種類<プログラム形式>	教育実施者※対面教育（オンライン）の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教科・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価方法/手法		希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモNOTE※アクティビティ計画のねらいと記載
													クリーンアスリートガイド<プログラム形式>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性		
国際競技連盟(IF)主催国際競技大会への派遣アスリートおよびサポートスタッフ ※年代別含む	2023世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日（ロンドンイギリス） ●選手権前夜まで、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリート自身の意思決定、行動が必要である ●競技大会出場のための要件が厳格化されている ●JADA、RTPが実施されるため、指導が厳格化していく可能性がある	●11月大会について、もともと海外遠征はスポーツ行動であること、また、サポートスタッフの役割も大きい ●派遣がクリーンスポーツ行動であること、また、サポートスタッフの役割も大きい ●JADA、RTPが実施されるため、指導が厳格化していく可能性がある ●ローカル選手としてスポーツ環境の体験、参加ができる	✓	A-1	対面式ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日まで	両国大会アスリートセンター（東京）	国際ヘルムアスリートガイド	ADEIリーディングFactsheet	派遣するアスリートサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	派遣するアスリートサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	●参加人数 ・学習者（アスリート）の学習態度者からのフィードバック	●参加人数 ●専門家（コーチ）からのフィードバック			
						A-2	IP内のメンタリングリスト			2023年6月末	－			派遣するアスリートサポートスタッフの100%がJADAワークショップアスリートイニシアチブに申し込み、申し込みのメールを返信する	派遣するアスリートサポートスタッフの100%がJADAワークショップアスリートイニシアチブに申し込み、申し込みのメールを返信する	・メンタリングリスト参加者のアクション				【参加内容】 ・JADAワークショップアスリートイニシアチブ ・J1選手権先
						A-3	IP内のメンタリングリスト			2023年9月末	－			派遣するアスリートサポートスタッフの100%が「競合他社（所）に所属するアスリートと他社（所）のメールを返信する	派遣するアスリートサポートスタッフの100%が「競合他社（所）に所属するアスリートと他社（所）のメールを返信する	・メンタリングリスト参加者のアクション				【参加内容】 ・JADAワークショップアスリートイニシアチブ ・競合他社（所）に所属するアスリートと他社（所）のメールを返信する

2023年度教育年間計画での記載

P13-14に記載された「2021Code/教育の国際基準に基づく教育」の目的を参考に、各競技団体（及びIF）の方針も踏まえながら、「教育プログラム全体の目的」「2023年度の競技団体としての教育の達成目標」を入力

教育プログラム 全体の目的	強化プランに掲げる「スポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する」には、単に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表現、体現できるよう、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。 インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが誠実にスポーツに取り組み、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の 競技団体としての 教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none">●パリ2024への出場権がかかった国際大会について、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を選出し、承認研修に参加させる



「2023年度の競技団体としての教育の達成目標」

競技団体として、重点をおく教育ターゲットや、その教育内容について達成目標として入力
また、教育推進体制の構築の観点からの目標についても、合わせて入力

（教育推進体制の構築の例）

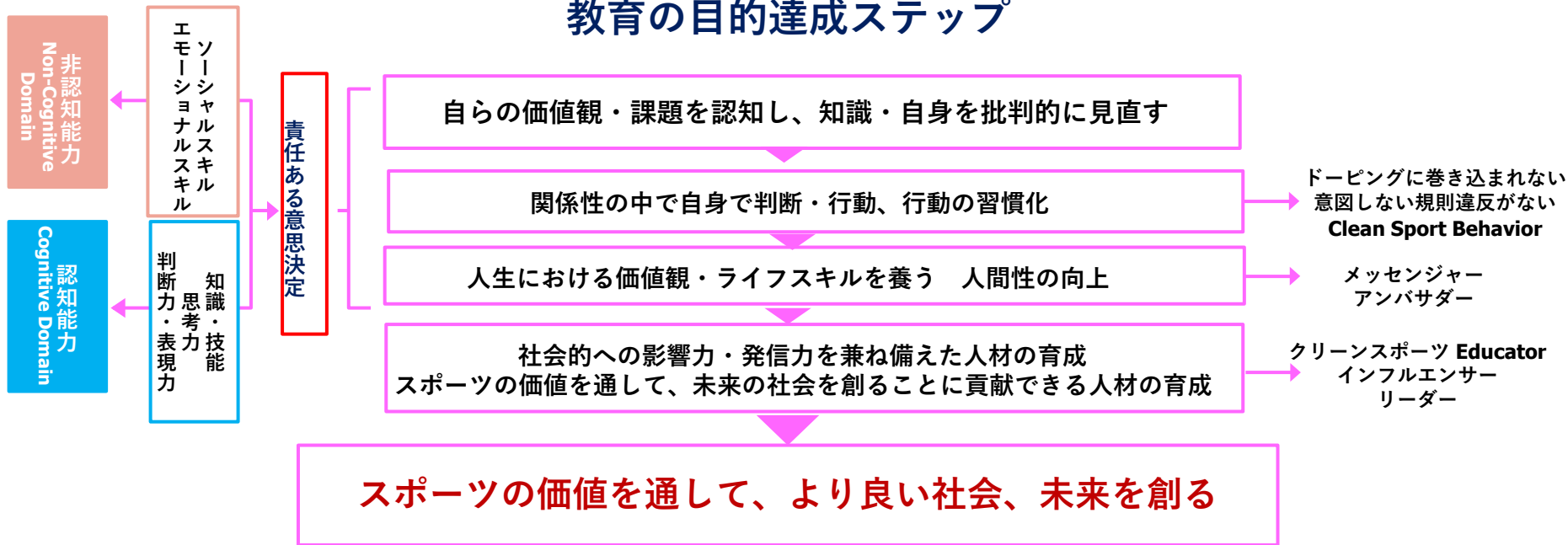
- ・承認Educator候補者を選出し、承認研修に参加させる
- ・より良い計画策定、アクティビティ実施のために、強化や育成の担当部署と四半期に1度打合せを行う

「教育」の目的：学習者の育てたい資質・能力／コンピテンシー



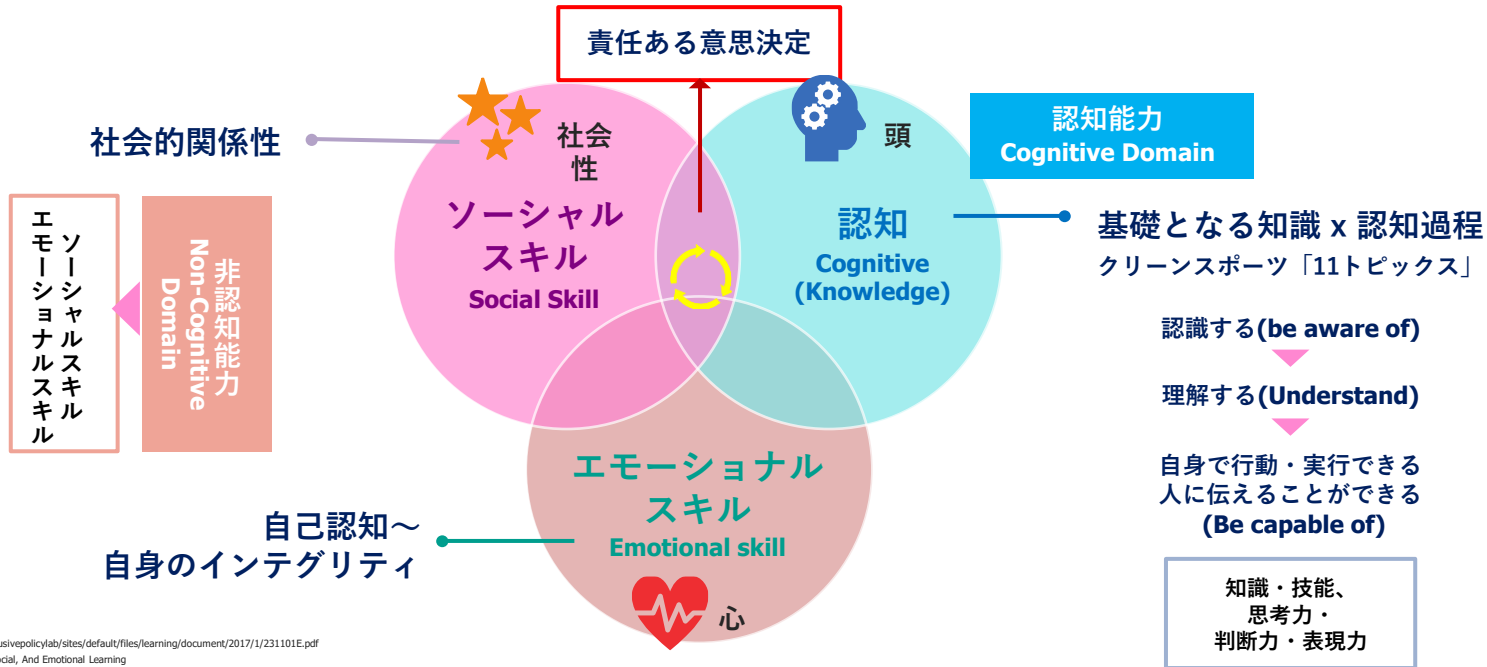
育てたいコンピテンシー

教育の目的達成ステップ



「教育」の目的：学習者の育てたい資質・能力／コンピテンシー

2021Code/ISEに基づき、責任ある意志決定を促し、ライフスキルを養うための、育てたい資質・能力の基盤となる
「認知能力」と「非認知能力」の考え方



UNESCO (2015) <https://en.unesco.org/inclusivepolicy/lab/sites/default/files/learning/document/2017/1/231101E.pdf>

CASL (2017) Collaborative for Academic, Social, And Emotional Learning

石井 (2002) 『「改訂版タキノミー」によるブルームタキノミーの再構築』

Anderson, L. W. & Krathwohl, D.R., et al (2001) A taxonomy for learning, teaching and assessing: A revision of Bloom's taxonomy of educational objectives. New York: Longman

1

教育ターゲットを設定する

教育年間計画策定のステップ



1. 教育ターゲットを設定する



2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する



3. 教育アクティビティを計画する



4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する



5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する



6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する



7. モニタリングと評価を設定する



8. 計画を共有する
(団体内、JADA)

承認Educatorが担う

2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(印欄)		XXX

教育プログラム全体の目的	強化プランに載っているスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する」には、単に競技力だけでなくスポーツの精神、スポーツのインテリゲンシーを養い、休養できぬよう、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。 インテリゲンシー教育（その中のアンチ・ドーピング）も、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが結果にスポーツに結び、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができればプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バド2024への出場権がなかった国際競技大会において、派遣前の教育を確実に実施する 今後、派遣前の教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ ●アンチ・ドーピング教育制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる

ステップ1-1：教育ターゲットの入力

ステップ1-2：教育ターゲット詳細の入力

ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成 年者 含む	ターゲッ トに 関する 詳細	教育ターゲット における実施、 ニーズ <現状分析>	教育ターゲットに 対する年度目標	事前承認 された教育 要件	教育 アクティビ ティの提供 プログラム形式	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティの タイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価値/方法		希望するJADA との連携 <プログラム形式>	メモ ※アクティビティ計画 のねらいなど記載
												クリーンアスリート ガイド プログラム形式	クリーンアス リートガイド理 論的なもの			定量	定性		
E 国際競技連盟(時 主観的競技大会 への派遣アスリート	2023 世界選手 権	11	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)	大会開催 期間：2023年11月 1日～11月 15日(15日) YY(YY) YY(YY) YY(YY)

「2023年度教育年間計画表」

各競技団体における、アスリートとサポートスタッフの分布

！ 各競技団体において、どのカテゴリーにどのような教育ターゲット（アスリート、サポートスタッフなど）が含まれるか整理が必要。競技団体によって、カテゴリーの名称が異なる場合もある。

教育対象 プール

*2021Code/ISEの履行に向けた戦略計画を参照

国際競技大会への派遣
(IF主催大会、年代別国際大会)

シニア強化指定

国内最高レベルの競技大会

年代別強化指定

育成対象

例

ユース
ジュニア

年代別
育成合宿

選抜
合宿

！ 中央競技団体として、アスリート個人を把握できる・登録されている場合、
「**育成対象**」とする

普及

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ1-1：教育ターゲットの入力



ステップ1-2：教育ターゲット詳細の入力

ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成 年を 含む	ターゲッ トに 関する 詳細	教育ターゲット における課題、 ニーズ と現状分析	教育ターゲットに 対する年度目標	評価から提示 された教育 事件
国際競技連盟(IF) 主催国際競技大会 への派遣アスリート および 参加サポート スタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリートとサポートス タッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 (ロンドン/イギリ ス)	<p>●2024年大会の出場権 争奪戦である大会</p> <p>●選手権前まで、海外 遠征に出るアスリートが多 いため、アスリート自身の 適切な準備、行動がと れる必要がある</p> <p>●競技大会出場のための 条件が厳格に設定されてい る</p> <p>●JADA-RTPが含まれ るため、現場が適切に開 くも徹底させたい</p>	<p>●11のトピックについて、ルール を基に自らアスリートが行動 がとれる</p> <p>●自身がアスリートが行動を するため、適切にサポートス タッフからのアドバイスが求 められること</p> <p>●ロールモデルとしてスポーツ道 徳の体現、模範がとれる</p>	<p>✓</p>

「2023年度教育年間計画表」

- 「【ステップ1-2】ターゲットに関する詳細」には、その教育ターゲットに登録される要件・条件などを入力
- 2023年度の「国内最高レベルの競技大会」は、2023年2月頃にJADAコーポレートサイトで公開予定。教育年間計画提出時は、**2022年度の「国内最高レベルの競技大会」**を想定として計画を策定

2

各ターゲットに対する**年度目標**を設定する

教育年間計画策定のステップ

-
- 承認Educatorが担う
1. 教育ターゲットを設定する
 2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
 3. 教育アクティビティを計画する
 4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
 5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
 6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
 7. **モニタリングと評価**を設定する
 8. 計画を**共有**する
(団体内、JADA)

2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印欄) XXX

教育プログラム全体の目的	強化プランに集約したスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する。①は、特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインパクトを表現、体験できるように、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）も、強化のためのものでプログラムと密着づけ、アスリートとサポートスタッフが結果にスポーツで繋がり、また社会からのアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ●2024年への出場権が争われた国際競技大会において、派遣前の教育を確実に実施する ●今後、派遣前に教育を受けることが当たりとなって、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内部関係者と共通認識を持つ ●アンチ・ドーピングEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認候補に参加させる

ステップ2-1：教育ターゲットにおける課題・ニーズ＜現状分析＞

ステップ2-2：教育ターゲットに対する年度目標

※希望するJADAとの連携 プログラムを記載																			
ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成 年を 含む	ターゲッ トに 関する 課題	教育ターゲット における課題・ ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	から得た 気づき 事項	教育 アクティビ ティの 種類 ＜プログラム＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン 含む）の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ の タイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法		希望するJADA との連携 プログラムを記載	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
												クリーンアスリート ガイド ＜プログラム＞	クリーンアス リートガイド ＜プログラム＞			定量	定性		
自衛隊快速選（F4） と自衛隊快速選大会 への派遣アスリート および サポート スタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポート スタッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11 YY日 （ロシア連邦）	・2024年大会の派遣選 手候補となる大会 ・選手権大会と、海外 遠征に出発アスリートが 多いため、アスリート候補 と選手権大会、行動が 異なる可能性がある ・競技大会出場のための 準備が完了している	●2024年大会の派遣選 手候補となる大会 ・選手権大会と、海外 遠征に出発アスリートが 多いため、アスリート候補 と選手権大会、行動が 異なる可能性がある ・競技大会出場のための 準備が完了している	✓	A-1	派遣前ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	高が谷サテ ライト・トレーニング センター （東京）	国内もヘルメット・グローブ （東京）	AGEE練習プログラム Facebook	派遣するアスリートとサポ ートスタッフ100%が派遣前 ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習率 ・派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック	●参加人数 ●参加率 ●学習率 ●派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック	希望するJADA との連携 プログラムを記載	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
								A-2	派遣前ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	高が谷サテ ライト・トレーニング センター （東京）	国内もヘルメット・グローブ （東京）	AGEE練習プログラム Facebook	派遣するアスリートとサポ ートスタッフ100%が派遣前 ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習率 ・派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック	●参加人数 ●参加率 ●学習率 ●派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック		
								A-3	派遣前ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	高が谷サテ ライト・トレーニング センター （東京）	国内もヘルメット・グローブ （東京）	AGEE練習プログラム Facebook	派遣するアスリートとサポ ートスタッフ100%が派遣前 ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習率 ・派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック	●参加人数 ●参加率 ●学習率 ●派遣前ワークショップ の参加率からの フィードバック		

2 各ターゲットの
年度目標
を設定する

「2023年度教育年間計画表」

各ターゲットの「年度目標」とは？

各教育ターゲットの
学習の**課題、
ニーズの特定**

- それぞれの教育ターゲットの
現状分析
- 出来ていること
 - 課題
 - ISEで求められていること
 - 現場で求められていること

各教育ターゲットの
**年度目標
の設定**

現状分析をもとに、
それぞれの教育ターゲットに
おいて、当該年度で獲得さ
せたい/深めたい知識や、行
動、スキル、価値観について
目標を設定する

各教育ターゲットでの
**アクティビティ目標
の設定**

※1つ1つのアクティビティに設定
される学習目標とは異なる

特定の期間のなかで、各
ターゲットの年度目標を達
成するために、アクティビティ
毎に設定する目標。
アクティビティの完了、成功を
判断するための指標

各ターゲットの学習の課題とニーズ

課題とニーズを特定するためのプロセスには、アスリート、コーチ、保護者、チームメディカルなど**競技団体内の関係者の参加が必須**

【課題、ニーズの特定のための問い】 ※参考

- 各教育ターゲットは、現在何を知っていますか？何ができますか？
- 各教育ターゲットは、何を知っておく必要がありますか？何ができるべきでしょうか？
- 現在どのような教育を受けていて、その効果はどうですか？何か変更が必要なものはありますか？
- 各教育ターゲットの中で、教育のレベルは異なりますか？（複数名は十分な教育を受けているが、他の人は教育を受けた経験が浅い可能性がある）
- アスリート、サポートスタッフは学習や行動変容に意欲的ですか？そうでない場合、どのようにしたら彼らに刺激を与え、やる気を引き出すことができますか？

各教育ターゲット課題とニーズ→年度目標

各教育ターゲットの課題とニーズ（現状分析）をもとに、
それぞれの教育ターゲットにおいて当該年度で達成したい目標を設定

【例】 U-18 国際XXXX大会派遣アスリートとサポートスタッフ

＜現状分析＞

- ・初めて国際競技大会に派遣されるアスリートが多い
- ・アンチ・ドーピングの基礎的な知識は持っているが、自身でクリーンスポーツ行動を行うという深さには達していない
- ・競技大会出場のための要件がIFから指定されている



＜年度目標＞

- 11のトピックスについて、ルールや手続きを再確認する
- ルールや、アスリートの責務＆権利に基づき、クリーンスポーツ行動の実践スキルを獲得する（特に、薬の事前確認とドーピング検査）
- 自身の考えるスポーツの価値を、チームメイトやサポートスタッフに伝えることができる

各教育ターゲットの年度目標の考え方 <例>



各競技団体でマイルストーンとなる大会を起点に、その大会に参加するアスリートの目指す姿を設定（例：2024パリ）

⇒「マイルストーン大会への出場権が与えられる大会」に参加するアスリートの目標を、逆算して設定することも可能（世界選手権、日本選手権）



PARIS 2024

2024年夏 パリ大会

- クリーンスポーツ行動の実践スキルを持ったうえで、自らの行動を振り返り、改善できる

出場権獲得！

逆算

2024パリでこのような姿を目指す場合、世界選手権ではどこまでできていたら良いか？

2023年冬 世界選手権

- クリーンスポーツ行動の実践スキル獲得

出場権獲得！

逆算

世界選手権での姿を目指す、日本選手権では、どこまでできていたら良いか？

2023年夏 日本選手権

- 11トピックについて、ルールと手続きの正しい情報を再確認

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ2-1：教育ターゲットにおける
課題・ニーズ＜現状分析＞



ステップ2-2：教育ターゲットに対する
年度目標

ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成 年を 含む	ターゲッ トに 関する 詳細	教育ターゲット における課題・ ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	計画中の 教育 目標
国際競技連盟（FIFA） 主催国際競技大会 への派遣アスリート および 参加サポート スタッフ 五年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 （ロンドン/イタ リヤ）	・2024パリ大会の出場権 を獲得できる大会 ・選手権直前まで、海外 遠征に出るアスリートが多 いため、アスリート自身の で適切な判断、行動がで きる必要がある ・競技大会出場のための 要件が分からず不安なとい う ・JADA、JITAが食まら ないため、適切な食事に 関する指導が必要	●11のトピックについて、ルール を基に自らゲームプランを行動 がとれる ●自身がゲームプランを行動を するときに、適切にサポートス タッフからのアドバイスを受けることが できる ●ローモーションとしくスポーツ情 報の提供、発信ができる	✓

「2023年度教育年間計画表」

- 各競技団体でのマイルストーンとなる競技大会または、その競技大会への出場権を獲得する大会の情報も、「【ステップ2-1】教育ターゲットにおける課題・ニーズ」に記入
- 「【ステップ2-2】教育ターゲットに対する年度目標」は、P11-12の「2021Code/教育の国際基準に基づく教育の目的」「育てたい資質・能力/コンピテンシー」も参照

3

教育アクティビティを計画する

教育年間計画策定のステップ

1. 教育ターゲットを設定する
2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する
3. 教育アクティビティを計画する
4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する
5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する
6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する
7. モニタリングと評価を設定する
8. 計画を共有する
(団体内、JADA)

承認Educatorが担う

2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

ステップ3-1： IFからの教育要件

ステップ3-2： 教育アクティビティの種類

ステップ3-3： 教育実施者

ステップ3-4： アクティビティのタイムライン&実施場所

ステップ3-5： 使用する教材・資料

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公営財団法人日本XX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印鑑) XXX
教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する(注)4。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表現、体験できるように。アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠。インテグリティ教育(その中のアンチ・ドーピング)を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが継続的にスポーツで学び、来世世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の選定目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年への出場権がかった国際競技大会について、派遣の前の教育を確実に実施する ● 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ ● アンチ・ドーピング教育の導入により、Educator候補者1名を選出し、承認研修に参加させる

ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成年 を含む	ターゲットに 関する 懸念	教育ターゲット における派遣、 ニーズ <優先分野>	教育ターゲットに 対する年度目標	教育 アクティビティ の種類 <ブルダウンス>	教育 実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティの タイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法		希望するJADA との連携 <ブルダウンス>	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいなど記載
											クリーンアスリート ガイド <ブルダウンス>	クリーンア スリートガイド 以外のもの			定量	定性		
C 国際競技大会(注) 主催国際競技大会 および 参加アスリート スタッフ 若年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポート スタッフ	15	0	大会開催: 2023年11月 XX日~11月 YY日 (ロンドン/イギリス)	「選手権選手権まで、海外 遠征に出るアスリートが いるため、アスリート自身 に教育の必要、行動が ある必要がある」 競技大会出場のための 準備が完了した段階で あるため、派遣の前後に 実施したい	●11月の大会について、も とに海外派遣アスリート とサポートスタッフの ためのアスリート・スタッフ のための教育を定めること である ●JADA-KITAが実施され るため、派遣の前後に 実施したい	A-1	派遣ワークショップ(オンライン)	山田	2023年8月1日 まで	高野ナシ とレニニ (東京)	国際ヘルムアスリート ガイド	ADEL アスリート ガイド	派遣するアスリートとサポ ートスタッフの100%が派遣 ワークショップに参加する	●派遣人数 ・学習者フィードバック ・教育実施者からの フィードバック	●派遣人数 ●教育実施者からの フィードバック ●学習者フィード バック		
							A-2	派遣ワークショップ(オンライン)					派遣するアスリートとサポ ートスタッフの100%が派遣 ワークショップに参加する	●派遣人数 ・学習者フィードバック ・教育実施者からの フィードバック				[関係内] × JADA-KITAが実施され るため、派遣の前後に 実施したい
							A-3	派遣ワークショップ(オンライン)					派遣するアスリートとサポ ートスタッフの100%が派遣 ワークショップに参加する	●派遣人数 ・学習者フィードバック ・教育実施者からの フィードバック				[関係内] × JADA-KITAが実施され るため、派遣の前後に 実施したい

3
教育アクティビティ
を計画する

「2023年度教育年間計画表」

「教育」の4要素

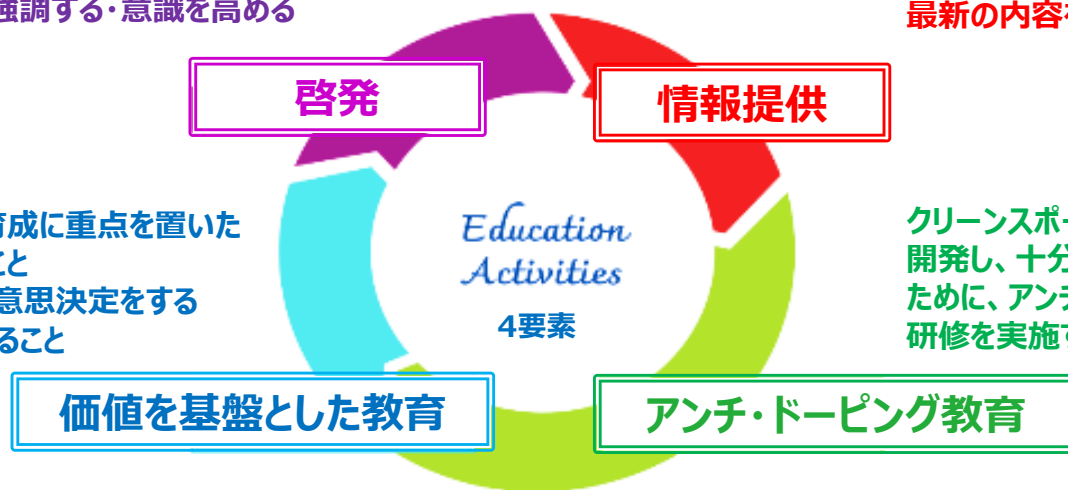
- ✓ 教育は4要素で構成される
- ✓ 教育ターゲットに対し適切な教育目標を立て、各アクティビティの設計をする

クリーンスポーツに関する
トピックス・課題を強調する・意識を高める
こと

クリーンスポーツに関する正確で
最新の情報を提供すること

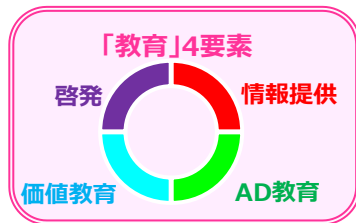
個人の価値観と信条の育成に重点を置いた
アクティビティを実施すること
倫理的に行動するための意思決定をする
能力（スキル）を開発すること

クリーンスポーツ行動における能力（スキル）を
開発し、十分な情報に基づく意思決定を下す
ために、アンチ・ドーピング・トピックスに関する
研修を実施すること



* ISE定義語 *

教育ターゲットと教育ステップ 「パスウェイに即した教育」



国際総合競技大会派遣への推薦者名簿提出

国際競技大会への派遣
(IF主催大会、年代別国際大会)

シニア強化指定

国内最高レベルの競技大会

年代別強化指定

育成対象

例

ユース
ジュニア

年代別
育成合宿

選抜合宿

普及

価値教育の重要層

● スポーツの価値を創る働きかけ

● 知識を活用した、
クリーンスポーツ行動の実践

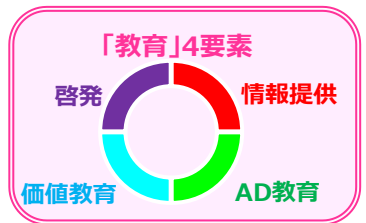
● クリーンスポーツ行動に必要な基
礎知識の習得

● スポーツの価値の醸成
● クリーンスポーツを守ることの自分
事化

● スポーツの価値、クリーン
スポーツの重要性への関心



教育ターゲットと教育ステップ 「パスウェイに即した教育」



国際総合競技大会派遣への推薦者名簿提出

国際競技大会への派遣

(IF主催大会、年代別国際大会)

シニア強化指定

国内最高レベルの競技大会

年代別強化指定

育成対象

例

ユース
ジュニア

年代別
育成合宿

選抜合宿

普及



教育アクティビティを組み合わせ、1年をかけて各教育ターゲットの年度目標を達成できるようにする

年度
目標

知識を活用した、
クリーンスポーツ行動の実践



アクティビティ

アクティビティ

アクティビティ

A + B + C

= 知識を活用した、
クリーンスポーツ行動の実践



各教育ターゲットの年度目標の考え方 <例>



それぞれの教育ターゲットで達成させたい姿の差分（ギャップ）を、教育アクティビティを実施することで埋めていく



2024年夏 パリ大会

- クリーンスポーツ行動の実践スキルを持ったうえで、自らの行動を振り返り、改善できる

アクティビティ アクティビティ

C + D

出場権獲得！

2023年冬 世界選手権

- クリーンスポーツ行動の実践スキル獲得

アクティビティ アクティビティ

A + B

出場権獲得！

2023年夏 日本選手権

- 11トピックについて、ルールと手続きの正しい情報を再確認

教育アクティビティ間の連動



教育アクティビティは単体ではなく、教育ターゲットに応じ、機会を最大限に活用しつつ、
組み合わせて実施していくことが効果的

対面教育



- スポーツの価値ワークショップ
 - クリーンスポーツの行動化のためのワークショップ
- ※対面式とオンライン方式の両方を含む

デジタルラーニング

- Eラーニング
- WADA ADEL
- ウェビナー（11トピックス）
- リアルチャンピオンクイズ



- アウトリーチブース
- ポスター掲示
- SNS発信
- キャンペーン

啓発

情報提供






- クリーンスポーツアスリートサイト
- IFのアンチ・ドーピング関連ページ
- メーリングリスト



3 教育アクティビティ を計画する

教育ターゲットと教育アクティビティ（JADA推奨）

2023年度、NFによる教育年間計画・実施における重点ポイント

	対面教育	E-ラーニング	ウェビナー/WEBクイズ	情報提供	普及
教育ターゲット アスリート・サポートスタッフも含む					
IF主催国際競技大会 へ派遣・参加 ★IF規程に準ずる	推奨 ワークショップ (対面式/オンライン方式)	強く推奨 ADEL 国際レベル アスリート向け	強く推奨 11トピックス	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー IFサイトへリンク	SNSクリーンスポーツ キャンペーン 動画投稿
強化対象	推奨 <ケーススタディの活用/課 題ベース>	強く推奨 ADEL 国内レベル アスリート向け	強く推奨 11トピックス	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	SNSクリーンスポーツ キャンペーン 動画投稿
国内最高レベルの 競技会への参加	強く推奨 ワークショップ (対面式/オンライン方式) <スポーツの価値>	推奨 ADEL 国内レベル アスリート向け	強く推奨 11トピックス リアルチャンピオンクイズ	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	推奨 ・iPLAY TRUE投稿 ・SNSでの発信 ・プログラム版 ・リーフレット配布 掲示
育成対象		推奨 リアルチャンピオンクイズ ★保護者★ 保護者向けウェビナー	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	推奨 ・スポーツ価値動画 ・SNSでの発信 ・プログラム版 ・リーフレット配布	推奨 ・アウトリーチ ・SNSでの発信 ・リーフレット配布
その他のアスリート ～一般			強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	推奨 ・SNSクリーンスポーツ キャンペーン ・広報誌

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-1： IFからの教育要件



IFから指定された教育要件に当てはまる場合は、
「✓」を選択

※「国際競技連盟（IF）主催国際競技大会への派遣アスリート
およびサポートスタッフ」の категорияのみで選択

ターゲット 課題、 ス 分析	教育ターゲットに 対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビ ティの種 類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ のタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料 クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外 のもの	教育
大会の出 場できる大 規模な選手 権にアスリ トが予定 に含まれ ていては、 機会を別 にしている 出場のため から指定さ れる	● 11のトピックスについて、原 則を基に自らクリーンスポ ーツ行動がとれる ● 自身がクリーンスポーツ 選手となるために、適切に サポートスタッフからのアド バイス を求めることができる ● ロールモデルとしてスポ ーツ選手の振舞い、発 言が期待される	✓	A-1 対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター （東京）	国内レベル アスリート向け		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 提供する
			A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 提供する
			A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年9月末	-	-		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 提供する

3-1

「2023年度教育年間計画表」

- 世界選手権（シニアだけでなく年代別含む）等の国際競技大会への参加要件 (eligibility) として、クリーンスポーツ教育を義務化しているIFが増加

例：11トピックスがカバーされたEラーニング
承認Educatorによる対面式ワークショップ

！ IFからJADAに当該者の承認状況や内容について照会あり

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-2：教育アクティビティの種類



P31「教育ターゲットと教育アクティビティ
(JADA推奨)」を参考に、プルダウンから、
当てはまるアクティビティの種類を選択

ゲット 課題、 ス 分析	教育ターゲットに 対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビティ の種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイ ムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育
							クリーン アスリ ートガ イド	クリーン アスリ ートガ イド以外 のもの	
大会の出 場できる大 選手権に なると定 義に含ま れ、かつ 出場のため 指定さ れる	●11のビッグについて、ルールを基に自らグリーンズレース行動がとれる ●自身がグリーンズレース行動をするために、適切なサポートスタッフからのアドバイスを受けることができる ●ロールモデルとして選手権の体現、発信ができる	✓	A-1	対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1日まで	西が丘ナショナルトレーニングセンター（東京）	国内レベルアスリート向け	・最近の スリッパ がある
			A-2	NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-	・最近の スリッパ がある
			A-3		-	2023年9月末	-	-	・最近の スリッパ がある

「2023年度教育年間計画表」

- 教育アクティビティは効果的に組み合わせることが重要
※各アクティビティの選択、連動性については、P37-43を参考に検討ください
- P31に記載された教育アクティビティ、およびそれ以外の教育アクティビティもプルダウンから選択可能
- プルダウンに当てはまるアクティビティが無い場合は、「その他」を選択 ※プルダウンの一番下に「その他」の選択肢あり
⇒「その他」を選んだ場合は、教育年間計画の右端『メモ NOTE』にアクティビティの内容を具体的に記載ください

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-3：教育実施者



【ステップ3-2】で対面教育（対面式ワークショップ）を選択した場合、教育実施者の欄に承認Educator候補者の氏名の入力必須

教育ターゲットに対する年度目標	IFから提示された教育要件	教育アクティビティの種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン含)の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育
						クリーンアスリートガイド	クリーンアスリートガイド以外のもの	
大会の出場できる人 が選手権にアスリートになる予定 に自選され、 競技会を別 出場のため 指定さ れる	✓	A-1 対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1日まで	西が丘ナショナルトレーニングセンター（東京）	国内レベルアスリート向け		対面式ワークショップを実施する
		A-2 NF内のメーキングリスト	-	2023年6月末	-	-		対面式ワークショップ「JADA」を実施する
		A-3 NF内のメーキングリスト		2023年9月末	-	-		対面式ワークショップ「JADA」を実施する

「2023年度教育年間計画表」

- 対面教育の実施者が教育年間計画（Excel）のシート『1.2023年度体制』の「承認Educator候補者」一覧に記載されているか必ず確認
- 2023年度クリーンスポーツEducator承認研修の開催前*までは、元教育活動者でも対面教育の実施が可能
- 承認Educator候補者が選出できない、競技団体での事情がある場合は、JADAへ個別にご相談ください
- JADA-Educatorの派遣を希望する場合は、「希望するJADAとの連携」の列でその旨選択 ※派遣には要件あり

*2023年度クリーンスポーツEducator承認研修：2023年6月-7月開催予定

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-4：アクティビティのタイムライン
& 実施場所

「アクティビティのタイムライン」と、「実施場所」
を、教育年間計画の提出時に
記載できる範囲で入力

教育ターゲット に対する年度目標	IFから提 示された教 育案件	教育 アクティビティ の種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイム ライン	実施場所	使用する教材・資料		教育 効果
						クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外の もの	
大会の出 場できる大 手選手に なれる予定 に含まれ たい。こ の場合、 出場のため に指定さ れる。	✓	A-1 対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター （東京）	国内レベルア スリート向け		・大会 出場 できる 選手に なれる
		A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		・大会 出場 できる 選手に なれる
		A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		・大会 出場 できる 選手に なれる

「2023年度教育年間計画表」

- 「アクティビティのタイムライン」は、アクティビティ間の連動性を持たせるために検討が必要
⇒具体的な日程が決定していなかった場合でも、「8月頃」「第3四半期」「シーズンの前」といった粒度で入力
- 各アクティビティの選択、連動性については、P37-43を参照

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-5：使用する教材・資料



- ✓ 【ステップ3-2】で対面教育を選択した場合のみ、
クリーンアスリートガイドの活用が可能
(「国内レベルアスリート向け」「ユースアスリート向け」を選択)

教育ターゲット に対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビ ティの種 類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料	
						クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外 のもの
大会の出 場できる大 規模な大会 に選手が 参加する 予定	✓	A-1 対面式ワークショップ (オンライン)	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター (東京)	国内レベルア スリート向け	
自身が行 う活動に 関するこ とについて は、機会を 別ける 必要がある		A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-	
ロールモ デルとして 活躍する こと		A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年9月末	-		

「2023年度教育年間計画表」

- 「クリーンアスリートガイド」の申請はこちらに記載された情報（教育対象や部数など）を基にJADAで確認し、
提供の可否を判断
- 「クリーンアスリートガイド」以外の教材・資料を使用する場合は、「クリーンアスリートガイド以外のもの」に教育年間計画提出時に
想定される範囲を記入（ADELからダウンロードできる資料など）
- P61以降の「教材・ツール一覧」を参考に記入
※p62の「教育推進のためのマテリアル申請ページ」が公開された後は、当該WEBページで確認可能

育成対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ
を計画する



◆中央競技団体として、アスリート個人を把握できる場合、「育成対象」とする

【例】 ユース/ジュニア、年代別育成合宿に参加するアスリート

< 計画策定時のポイント >

- ✓ 「検査の前の教育」を担保する
- ✓ スポーツの価値教育により焦点を当てる必要あり
- ✓ アスリート本人だけでなく、指導者・保護者を含めた環境整備が必要

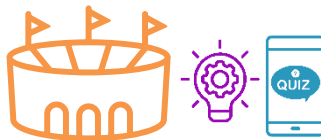
「教育」4要素



2023年度、JADAから
の講師派遣の重点
サポート対象



承認Educatorによる
対面式ワークショップ
＜スポーツの価値＞



- ・アウトリーチブース
- ・スポーツの価値動画の放映
- ・ポスター/横断幕の掲示
- ・プログラム版掲載
- ・WEBクイズ



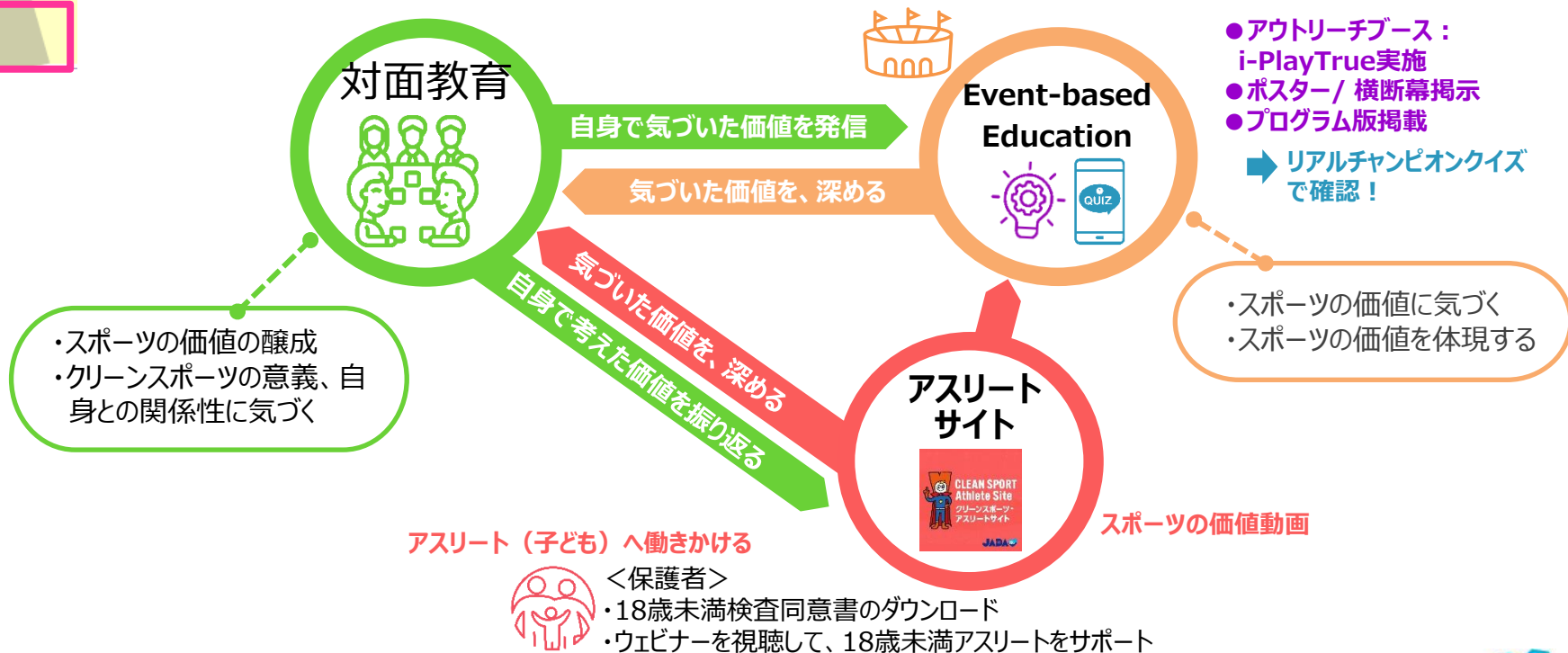
- ★保護者に対して★
- ・18歳未満検査同意書
- ・保護者向けウェビナー

育成対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ
を計画する

＜💡 計画策定時のポイント＞を踏まえた、学習プロセスの例



国内最高レベルの競技大会へ参加する アスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ
を計画する

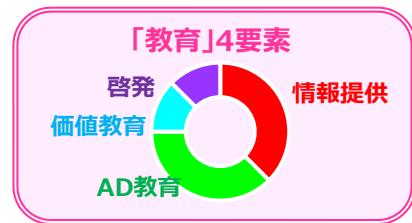


JADAのサイトに公開されている各競技の「国内最高レベルの競技大会」へ参加するアスリート

国内最高レベルの競技会 ≠ ドーピング検査実施大会

< 計画策定時のポイント >

- ✓ 「検査の前の教育」の観点で、**クリーンスポーツの意義への喚起**、**アンチ・ドーピング教育**、**情報提供**のグッドチャンス！
- ✓ 競技によっては、対象のアスリート・サポートスタッフの数が大きい場合、デジタルコンテンツを組み合わせ、「知らなかった」アスリートをつくらない



Event-based
Education



大会情報や、エントリーページに
アスリートサイトのバナー設置



競技大会へ参加するアスリートが自ら
学べる、Eラーニング、ウェビナー



★18歳未満のアスリートも参加
できる大会の場合、
18歳未満検査同意書

強化対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ
を計画する

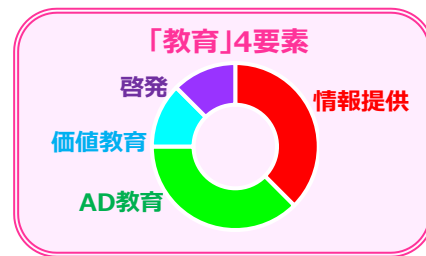


◆各団体で、指定のカテゴリー/レベル設定等は異なる

【例】強化指定A、シニア日本代表

＜💡 計画策定時のポイント＞

- ✓ ルールを知っているだけでなく、「知っている」が本当に行動につながるか？を問うことを通して、**クリーンスポーツ行動の実践スキル**を習得する必要あり
- ✓ 毎回の気づき、楽しさ、自身の誇りを醸成する
- ✓ 最新情報へのアクセスが可能となる情報提供のルート確保



NF内の強化スタッフ、
アスリート所属チームと
の連携が必要



承認Educatorによる
対面式ワークショップ
＜クリーンスポーツ行動＞



行動化するために
ルールを再確認する
Eラーニング



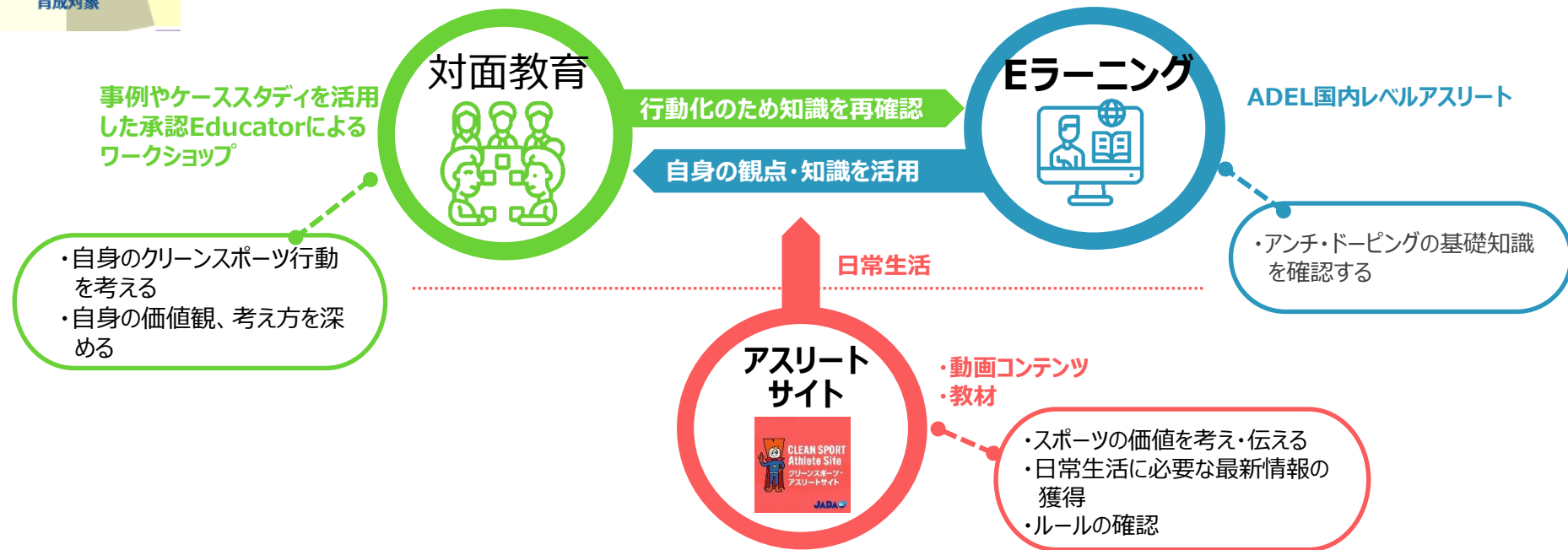
日常的に最新情報を確認できるよ
う、アスリートサイトのリンクバナーを
設置

強化対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ
を計画する

＜💡 計画策定時のポイント＞を踏まえた、学習プロセスの例



IF主催国際競技大会への派遣アスリート とそのサポートスタッフ



【例】 世界選手権、ワールド○○シリーズ、U-▲世界選手権



< 計画策定時のポイント >

- ✓ 世界選手権（シニアだけでなく年代別含む）等の国際競技大会への参加要件として、国際競技連盟（IF）/JADAが承認するクリーンスポーツ教育を義務化するIFが増加
→必ず、IFから公開される/通達される参加要件の内容・項目を事前に確認し、
教育年間計画に落とし込む必要あり
- ✓ 強化対象アスリートがIF主催国際競技大会へ派遣される場合：
強化対象アスリートへの教育内容が、IFが定める要件を満たす場合もある
→各競技団体からIFへの確認が必要

【要件として指定された
アクティビティの例】



・E-ラーニング
（ADELなど）



・NADO（日本の場合JADA）が承認した
Educatorによる対面教育

4

各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する

教育年間計画策定のステップ

-
- 承認Educatorが担う
1. **教育ターゲット**を設定する
 2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
 3. **教育アクティビティ**を計画する
 4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
 5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
 6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
 7. **モニタリングと評価**を設定する
 8. 計画を**共有**する
(団体内、JADA)

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(役職)		XXX

<p>教育プログラム全体の目的</p>	<p>強化プログラムの高いレベルで学ぶことで、グローバルな影響を与えられるアスリート、サポートスタッフを育成する。さらに、競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのイノベーションを体験し、社会で活躍できる人材として、アスリートとサポートスタッフの両方に教育を提供する。</p> <p>インクルーシブ教育（すべての人にとって学び）を、強化プログラムの基盤となる文化に育む。アスリートとサポートスタッフが互いに支えあひ、また世帯でのアスリートへ向ける理解をもたせようとするさまざまなプログラムを構築する。</p>
<p>2023年度の競艇学校としての教育の達成目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023/24年の出場者がかつてない国際競技力を持つため、英語の初級教育を確実に実施する。今後、英語の初級教育を受けたい希望者が増える。アスリート、サポートスタッフ、競艇関係内関係者と共に課題を解決する。 ● クラウドベース「Educator」制度の導入により、Educator候補者をより多く選出し、承認プロセスに参加させる。

ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年者を含む	ターゲットに関する記事	教育ターゲットにおける課題・ニーズ＜現状分析＞	教育ターゲットに対する年度目標	計画的な取組 された取組 要旨	教育 アクティビティ の提供 ＜ブルダウンス＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン）の場合、承認 Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教科・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング 項目	評価制/方法		希望するJADAとの連携 ＜ブルダウンス＞	メモ NOTE ※アクティビティと計画 のねらいなど記載
												クリーンアスリートガイド ＜ブルダウンス＞	クリーンアスリートガイド ＜ブルダウンス＞ 外のもの			定量	定性		
												定量	定性						
Ⅱ 国際関係推進（特に 主権国家優先外交 への貢献） および 参加型スポーツ クラブ	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	<p>・2024年大会の出場目標を整理できる大会</p> <p>大会開催：2023年11月XX日～11月Y日（ロンドンイギリス）</p> <p>・選手権前夜祭と、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリートと指導者の関係性、行動がわかる必要がある</p> <p>・競技大会出場のための準備が整った状態になっている</p> <p>※JADA、RITが参加するため、関係性構築に期待（連携が望ましい）</p>	<p>●1日の日程について、ルールを熟知し自分のペースで行動できる</p> <p>●目標がゴールまで一歩ずつ進むことができる、ゴールまでの道のりがクリアに見えるようになる</p> <p>●ゴールを達成し、スポーツ関係の仲間、関係者ができる</p>	<p>前期のトレーニング</p> <p>山田 博</p> <p>2023年8月1日～</p> <p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>2023年9月末</p>	<p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p>	<p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>希望するJADAとの連携 ＜ブルダウンス＞</p>	<p>メモ NOTE ※アクティビティと計画 のねらいなど記載</p>						
Ⅲ 国際関係推進（特に 主権国家優先外交 への貢献） および 参加型スポーツ クラブ	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	<p>・2024年大会の出場目標を整理できる大会</p> <p>大会開催：2023年11月XX日～11月Y日（ロンドンイギリス）</p> <p>・選手権前夜祭と、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリートと指導者の関係性、行動がわかる必要がある</p> <p>・競技大会出場のための準備が整った状態になっている</p> <p>※JADA、RITが参加するため、関係性構築に期待（連携が望ましい）</p>	<p>●1日の日程について、ルールを熟知し自分のペースで行動できる</p> <p>●目標がゴールまで一歩ずつ進むことができる、ゴールまでの道のりがクリアに見えるようになる</p> <p>●ゴールを達成し、スポーツ関係の仲間、関係者ができる</p>	<p>前期のトレーニング</p> <p>山田 博</p> <p>2023年8月1日～</p> <p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>2023年9月末</p>	<p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p>	<p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>希望するJADAとの連携 ＜ブルダウンス＞</p>	<p>メモ NOTE ※アクティビティと計画 のねらいなど記載</p>						
Ⅳ 国際関係推進（特に 主権国家優先外交 への貢献） および 参加型スポーツ クラブ	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	<p>・2024年大会の出場目標を整理できる大会</p> <p>大会開催：2023年11月XX日～11月Y日（ロンドンイギリス）</p> <p>・選手権前夜祭と、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリートと指導者の関係性、行動がわかる必要がある</p> <p>・競技大会出場のための準備が整った状態になっている</p> <p>※JADA、RITが参加するため、関係性構築に期待（連携が望ましい）</p>	<p>●1日の日程について、ルールを熟知し自分のペースで行動できる</p> <p>●目標がゴールまで一歩ずつ進むことができる、ゴールまでの道のりがクリアに見えるようになる</p> <p>●ゴールを達成し、スポーツ関係の仲間、関係者ができる</p>	<p>前期のトレーニング</p> <p>山田 博</p> <p>2023年8月1日～</p> <p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>2023年9月末</p>	<p>高野日ナシケル・トレーニングセンター（東京）</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p> <p>国際バレーアスリートガイド</p>	<p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p> <p>・派遣アスリートとサポートスタッフの100%が派遣ワークシップに参加する</p>	<p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>・参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p> <p>●参加人数 学習者（アスリート）の 教育関係者（サポートスタッフ）の 数</p>	<p>希望するJADAとの連携 ＜ブルダウンス＞</p>	<p>メモ NOTE ※アクティビティと計画 のねらいなど記載</p>						

JADA
Japan Anti-Doping Agency

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ4-1：アクティビティ目標を設定する



教育アクティビティ目標設定の原則のもと
アクティビティ目標を記入
(教育アクティビティ目標設定の原則は、P48を参照)

- 年間を通して実施した教育アクティビティのすべての目標が達成されると、【ステップ2-2】で設定した、教育ターゲットごとの年度目標を達成できることになる

実施者 （法人・個人） 氏名	アクティビティ のタイム ライン	実施場 所	活用する 教材	教育アクティビ ティ目標	実施モニタ リング 項目	評価額/方法	
						定量	定性
〇〇 〇〇	2023年8月1日 まで	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフの100%が研修を修了する	・コース修了状況 (研修修了の割合)	●研修修了者人 数	-
-	2023年6月末	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフ全員に「JADAグリーンスポー ツアスリートサイト」のURL、JITLIE 研修先のメールを届ける	・メールリスト登録 者のアクション		●アスリートの二 次発信の内容
-	2023年9月末	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフ全員に「JADAグリーンスポー ツアスリートサイト」のURL、JITLIE 研修先のメールを届ける	・メールリスト登録 者のアクション		●アスリートの二 次発信の内容

4-1

「2023年度教育年間計画表」

＜ある教育ターゲットにおいて、アクティビティAとBを実施する場合＞

年度目標 = アクティビティAの目標 + アクティビティBの目標

達成

達成

達成

「教育アクティビティ目標」とは？

*原則に基づき設定

各教育ターゲットの
学習の**課題、
ニーズの特定**

それぞれの教育ターゲットの
現状分析

- 出来ていること
- 課題
- ISEで求められていること
- 現場で求められていること

各教育ターゲットの
**年度目標
の設定**

現状分析をもとに、
それぞれの教育ターゲットに
おいて、当該年度で獲得さ
せたい/深めたい知識や、行
動、スキル、価値観について
目標を設定する

各教育ターゲットでの
**教育アクティビティ目標
の設定**

※1つ1つのアクティビティに設定
される学習目標とは異なる

特定の期間のなかで、各
ターゲットの年度目標を達
成するために、各教育アク
ティビティに設定する目標。
アクティビティの完了、成功を
判断するための指標

教育アクティビティ目標の設定

特定の期間のなかで、各教育ターゲットの年度目標を達成するために
教育アクティビティの完了、成功を判断するための指標

【教育アクティビティ目標設定の原則】

S = Specific 具体的な
M = Measurable 測定可能
A = Achievable 達成可能
R = Realistic 現実的
T = Timely 適時性

プログラム目標の例：

＜育成対象＞

- ・ トレーニングキャンプに参加するアスリートとサポートスタッフの100%がクリーンスポーツ研修会に参加する
- ・ 育成対象が出場する競技大会のうち、2大会でアウトリーチプログラムを実施する

＜国内最高レベルの競技大会へ参加するアスリート＆サポートスタッフ＞

- ・ 参加するアスリートの100%がADEL国内レベルアスリートのコースを修了する

7

モニタリングと評価を設定する

教育年間計画策定のステップ

-
- 承認Educatorが担う
1. 教育ターゲットを設定する
 2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する
 3. 教育アクティビティを計画する
 4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する
 5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する
 6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する
 7. モニタリングと評価を設定する
 8. 計画を共有する
(団体内、JADA)

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

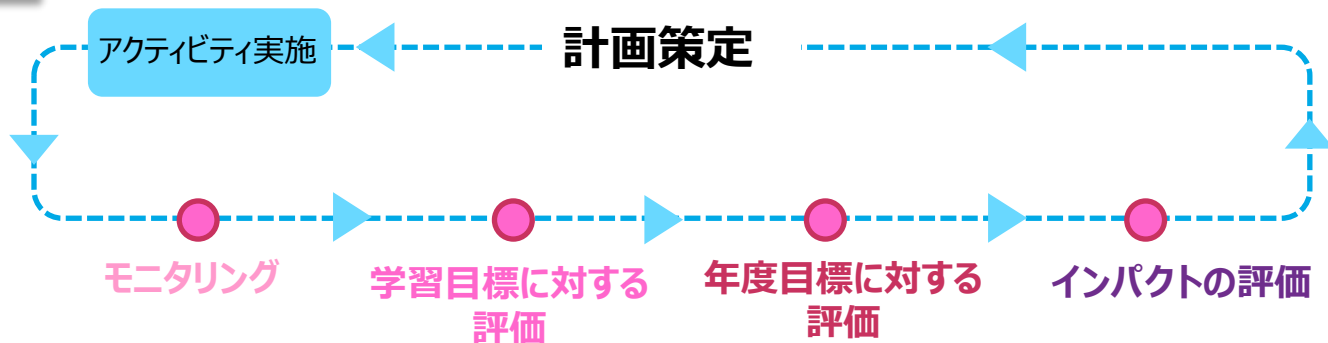
競投団体名	公益財団法人日本XX連盟		
標目名	YYY		
計画承認者	(役職)		XXX

教育プログラムの 全体の目的	強化プログラムを通じて社会にポジティブな影響を与え、キャリア、サポートスタッフを育成する)には、単に教員だけでなくスーパードクターの積極的、スーパードクターの役割も必要である。スーパードクターは、学生と教師との間の教育プラットフォームである。
2023年度の 数値目標としての 教育の成果目標	●バロメータの出版が大学国際化委員会において、英語の教育を確実に実施する。 今後、英語の教育を更に向上させるために、スーパードクター、教師団体内関係者と共に活動継続を目指す ●「Academic」Educationの制御を向上し、Educator候補生を選出し、承認プロセスに参加する

未就学年の人数を記載してください。人数が不明な場合は、「1」でも構いません。						異なるターゲットに合同（共通）の研究会を実施する場合は、同じ番号を入れてください。													
ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年者を含む	ターゲットに関する証書	教育ターゲットにおける成果、ニーズ＜現状分析＞	教育ターゲットに対する年度目標	部から提供された情報事件	教育アクティビティの種類 ＜ブルダウニング＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン含む）の場合、承認 Educator が実施	アカデミックのタイムライン	実施場所	使用する教科・資料 クリンアスリートガイド ＜ブルダウニング＞	クリンアスリートガイド以外のもの	教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価額/方法		希望するJADAとの連携 ＜ブルダウニング＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと調整
															定量	定性			
E 国際強化連盟(IF) 主催世界ジュニア大会への派遣アスリートおよび参加リポータースタッフ 5年世代を含む	2023 世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日（ロンドンイギリス）	「2024年7月の大会出場資格を獲得できる大会」	●110kgについて、ルールを熟知し得るアスリートが増える。 ●自身のフィジカルトレーニングを継続し、パフォーマンス向上を図れる。 ●ロー＆ギブアップなどの要領が分かるようになる。	✓	A-1	対面式ワークショップ（オンライン）	山田 博	2023年8月1日より	高野正伸先生とトレーニングセッション（東京）	ACIS練習165分以内	「派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が対面式ワークショップに参加する」	-参加人数 -参加者満足度アンケート結果 -参加回数	●教育実施者のフィードバック ●学習者フィードバック	●教育実施者からのフィードバック ●学習者フィードバック		【期待内容】 JADAフィジカルサポートコース修了後、JLE 準備中
					「派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣先国でのトレーニングを受ける」	-	2023年6月末						【期待内容】 JADAフィジカルサポートコース修了後、JLE 準備中						
					「派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣先国でのトレーニングを受ける」	-	2023年9月末						【期待内容】 JADAフィジカルサポートコース修了後、JLE 準備中						

「2023年度教育年間計画表」

モニタリングと評価



モニタリング：各教育ターゲットに対する年度目標の達成に向けた進捗状況の把握をすること
定期的かつ時間の経過とともに、定量・定性的なデータを収集する必要あり

学習目標に対する評価：学習者が何を学習したか、何ができるようになったかの定量・定性的な評価
※対面教育については、承認Educatorが評価を行う

年度目標に対する評価：年度目標が達成できたかの評価
定量だけでなく、定性的な評価を検討できると良い（[年次](#)）

インパクトの評価：アスリートやサポートスタッフの行動にどのような影響を与えたかの評価（[複数年次](#)）
複数年次で評価していくため、教育年間計画には記載の項目無し

2023年度 教育年間計画での記載

ステップ7-1：モニタリングと評価を設定



- ✓ 全ての教育アクティビティにおいて「【ステップ4-1】教育アクティビティ目標」をもとに「モニタリング項目」「評価（定量）」を記入
- ✓ 「評価（定性）」は、検討することが可能な教育アクティビティにおいて記入

アクティビティ タイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ 目標	実施モニタ リング 項目	評価軸/方法		希望と
		クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外の もの			定量	定性	
年8月1 まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター (東京)	国内レベルア スリート向け		・派遣するアスリートとサポート スタッフの100%がEランを修 了する	・コースの修了状況 (修了証の提出)	●Eラン修了者 人数	●教育実施者 からのフィードバック ●学習者フィード バック	
年6月末	-	-		・派遣するアスリートとサポート スタッフ全員に「JADAクリーン スポーツアスリートサイトの URL」「TUE申請先」のメ ールを発信する	・メーリングリスト受 信者のリアクション			
年9月末	-	-		・派遣するアスリートとサポート スタッフ100%に「宿泊先住 所」「現地練習スケジュール 住所」のメールを発信する	・メーリングリスト受 信者のリアクション			

7-1

「2023年度教育年間計画表」

- ・【ステップ3-2】で対面教育（対面式ワークショップ）を選択した場合、「評価（定性）」は、承認Educatorが必ず行います
⇒「評価（定性）」の欄には、その旨記入
- ・P53-54に記載のJADAから提供できるデータについて確認

JADAから提供できるデータ

各アクティビティのモニタリング、定量・定性的な評価を行うにあたり、
JADAから加盟団体へ共有可能なデータ

1) クリーンスポーツ研修会フィードバック

- 対面式研修用スライド（申請制）には、「**学習者向け**」「**講師向け***」の**フィードバックフォーム**がセットになっています
- 希望があれば、「学習者向けフィードバック」データを後日共有可能

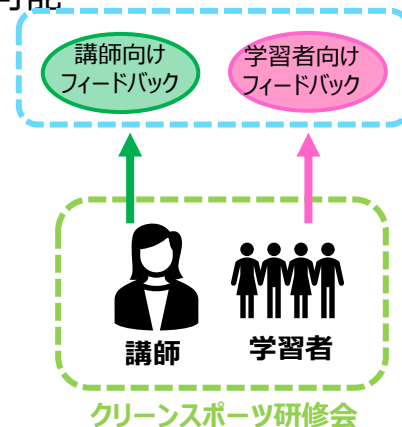
※スライド申請時に、データ共有の要望を記入ください

※「**学習者向け**」データの共有には、「**講師向けフィードバック**」の提出が必須

▼ 学習者向け



▼ 講師向け



講師と加盟団体の教育担当者へ
「学習者向けフィードバック」データを
共有



・学習目標の達成確認
・講師としての省察

*「講師向け」フィードバックフォームは承認Educator制度開始後、運用が変更される可能性あり。

JADAから提供できるデータ

2) リアルチャンピオンクイズ回答履歴

- クイズの参加・回答履歴について、JADAは「登録コード*」で管理します
※「登録コード」欄へ未入力であってもクイズの参加は可能
- 希望があれば、「登録コード」で出力したデータを後日共有可能

***各アウトリーチや研修会でNFにて「登録コード」を決め、学習者に事前に伝える必要あり！**

→ 名前 → 年齢 (Exit)

→ あなたは？ → 出身地 (※国体出場者の場合は出場都道府県)

→ 競技

→ 登録コード (競技団体等から指定があった場合は記入)
半角英数字のみ

☐ クリーンスポーツ推進の目的にのみ、JADAが登録情報や回答履歴を所属先／派遣元／競技大会主催者に対して共有することに同意します。

クリーンスポーツって何？ レベル1 クリーンスポーツを守ろう！ レベル2 クリーンスポーツを創ろう！ レベル3

3) ADEL受講状況

- ADELの受講状況の確認はWADAとの契約上、JADAのみが可能
- 学習者がアカウント登録で入力した「競技」で受講状況を出力、加盟団体へ共有可能

※受講状況の出力、共有のタイミングは「要望」ベースではなく、事前にJADAが定めたタイミングで行います

※学習者がアカウント登録時に「競技」を誤って登録した場合、共有データに含まれません



**原則、ADELの受講状況把握は
学習者からの修了証の提出で
管理ください**

8

計画を共有する

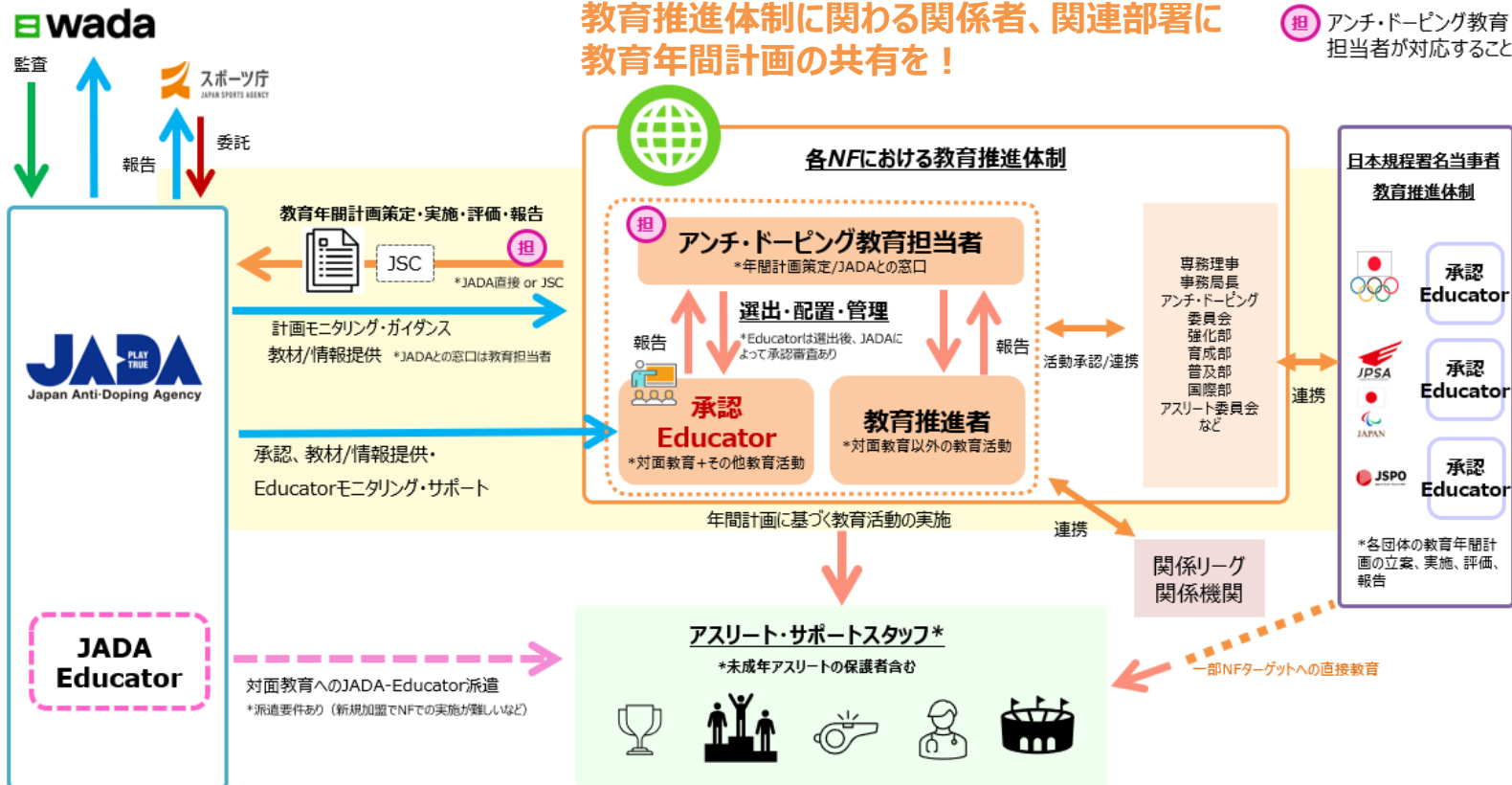
教育年間計画策定のステップ

1. **教育ターゲット**を設定する
2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
3. **教育アクティビティ**を計画する
4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
- 承認Educatorが担う
 5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
 6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
 7. **モニタリングと評価**を設定する
 8. 計画を**共有**する
(団体内、JADA)

教育のタイミング（機会の活用）、各アクティビティの学習目標等をより適切に計画・実行するために

- ✓ 事務局・教育担当者・承認Educator・教育推進者間のさらなる連携・共有体制構築が必要
- ✓ 育成、強化プランに基づく、関係部署（強化の現場を含む）連携による教育推進が必要

2023年度からのNFにおける教育推進体制



JADAとの連携/支援

2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印) XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与え、アスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表明、体験できるように、アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）も、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが誠実にスポーツに意欲込み、また次世代のアスリートへ良い影響を与えられることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前のよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ ●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる

クリーンスポーツ教育の目的	<p>教育プログラムを通して、学級生は、知性、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯を通して楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモーションスキルを学び、ライフスキルとして人権を向上させられることができる。それらを兼ねて、自分で意思のある意思決定ができる。</p> <p>また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどう活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。</p> <p>教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体験していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。</p>
---------------	---

- 年間計画に記述のないものは、原則実行できません
- 教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリーに基づき、上層によって、ご所属に該当しない場合があります
- JADA-Educatorの派遣には要件があります（検討の際は、事前にご確認ください）

未成年の人数を記載してください。人数が不明な場合は、「？」でも構いません。				異なるターゲットに合同（共通）の研修会を実施する場合は、同一であることが必要です。同じ番号を入れてください。				Educatorが主体的な研修を行っていること																												
ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年者を含む	ターゲットに関する証書	教育ターゲットにおける資源、ニーズ<現状分析>	教育ターゲットに対する年度目標	IPから提供された教育資料	教育アクティビティの提供<プログラム形式>	教育実施者 ※対面教育（オンライン含む）の場合、承認 Educator が実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価額/方法		希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと記載																	
												クリーンアスリートガイド<プログラム形式>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性																			
国際競技連盟（IF）主催国際競技大会への派遣アスリートおよびサポートスタッフ ※年代別を含む	2023 世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日（ロンドンイギリス） ●選手権前夜と、海外遠征に出るアスリートが多数いるため、アスリート自身への教育の提供、行動が必要である ●派遣大会出場のための条件が厳格に定められている ●JADA、RITAが参加したため、指導が容易に期待できる	●11月10日～11月15日、ロンドンに滞在するアスリートとサポートスタッフの行動を監視する ●自身やスタッフのサポート行動を監視する。また、アスリートとスタッフの行動が安全であることを確認する ●ローモーションとしてサポート提供の確保、実施ができる	A-1 対面式ワークショップ（オンライン） 山田 伸 2023年8月1日まで 高井行ナショナルトレーニングセンター（東京） 国際ヘルムアスリートガイド	ADEEリーディングファクトシート	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する																	
																				A-2 非対面的メーリングリスト	2023年6月末	-	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が教育プログラムに参加する

JADAとの連携/支援

JADAとの連携/支援

「2023年度教育年間計画表」

2023年度 教育年間計画での記載

JADAとの連携/支援

プルダウンから、以下のうち当てはまるものを選択

JADAとの連携/支援は、競技団体の教育年間計画に当該の教育アクティビティが記載されていることが必須（計画に記載がない場合、派遣や貸出はできません）

● JADA-Educatorの派遣

- ✓ 派遣に関する要件あり。個別にご案内します
- ✓ 2023年度は、「育成対象」に対する対面教育を重点的に支援（JADAにて派遣対象を選定）
- ✓ 派遣希望の教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリに基づく上限によって、派遣できない場合あり
- ✓ 派遣の可否については、年間計画提出後に改めてJADAより連絡

● アウトリーチキットの貸出

- ✓ 原則、貸出に係る送料は競技団体負担
- ✓ 貸出物の紛失、破損があった場合は別途請求させていただきます

JADA Fair Pride Eラーニング

2023年度よりADELの活用推奨のため、一律のご案内は行いません
個別の事情でADELの使用が難しい場合は、JADAへご相談ください

教育アクティビティ 目標	実施モニタ リング 項目	評価軸/方法		希望するJADA との連携	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいなど記載
		定量	定性		
派遣するアスリートとサポート スタッフの100%がモランを修 する	・コースの修了状況 (修了証の提出)	●Eラン修了者 人数	●教育実施者 からのフィードバック ●学習者フィードバック		
派遣するアスリートとサポート スタッフ全員に「JADAグリーン ボーツアスリートサイトの RL」「TUE申請先」のメ を発信する	・メーリングリスト受 信者のアクション				【発信内容】 ●JADAグリーンボーツアスリート サイトのURL ●TUE申請先
派遣するアスリートとサポート スタッフ100%に「宿泊先住 」「現地練習スケジュール& 所」のメールを発信する	・メーリングリスト受 信者のアクション				【発信内容】 ●IF/JADA- RTPがあるため ●宿泊先住所 ●現地練習スケジュール&住所

「2023年度教育年間計画表」

新規JADA加盟団体については、別途サポートあり

2023年度 教材・ツール一覧 20211ver.

近日、「教育推進のためのマテリアル等申請ページ」を公開
⇒競技団体への教材・マテリアルの案内は、今後このページを介して行っていきます

教材・ツール一覧（参考）と、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイトの
RESOURCES（資料）ページを確認し、教育年間計画に基づき、以下の
観点にて教材を検討ください



教育推進のためのマテリアル等申請ページ

競技団体への教材・マテリアル等の案内は、今後このページを介して行っていきます
(近日公開)



教材・マテリアルの申請フォームを
1つのページに！

JADA加盟競技団体対象：受付中の申請フォーム一覧



研修会スライド申請



教材申請



※2022年度の日本語教材申請の受付は終了しました



講師派遣申請



競技大会における教育関連ツール申請



教育ターゲットに応じて、JADA推奨の
教材・マテリアルを確認→活用へ！



国際競技連盟 (IF)
主催国際競技大会参加



強化対象



国内最高レベル競技大会参加



育成対象 (ユース/ジュニア、
年代別選抜/合宿参加等)



国際競技連盟 (IF) 主催国際競技大会参加

最低限押さえるポイント

大会派遣前に教育を実施 (IFから要件が指定される場合あり) スポーツの価値を創る働き
かけができる



対面教育

推奨

派遣前に実施

研修会スライド申請

教材申請

講師派遣申請



E-ラーニング

強く推奨

教育推進のための
新しい教材・マテリアル
＜2022年度公開＞



クリーンスポーツ研修会スライド①

リニューアルされました！

クリーンアスリートガイド（国内レベルアスリート向け）に基づく対面式研修用スライド

教育目標：アンチ・ドーピングのルールやアスリートの権利と責務について理解を深め、学習者が正しい情報のもと自身で適切に意思決定・行動できるようになること



11トピックスにもとづく7つのカテゴリー



11トピックスをカバー

教育に関する国際基準で要請されている、11トピックスの全てが、スライド内でカバーされている

2023年度からクリーンスポーツEducator制度が開始されたら、承認Educatorのみが使用可能

クリーンスポーツ研修会スライド②



教育の相乗効果を高める 本スライドと各マテリアルと の連動性



スライドの活用と併せて、
クリーンアスリートガイドの
活用、リンクバナーの申
請を検討



<https://www.realchampion.jp/resources/000216.html>

研修会スライド

理解する
具体的な行動を共有する

3つのマテリアルは、視覚的・内容構成において
連動性を持たせています。
各マテリアルや教育手法を、
教育ターゲットに応じて組み合わせて活用し、
学習者が長期的に一貫した学びを深めることができるよう
教育プログラムを策定しましょう。



<https://www.realchampion.jp/resources/000211.html>

クリーンアスリートガイド

認識する(気づく・知る)
理解する







<https://www.realchampion.jp/>

クリーンスポーツ・ アスリートサイト

自ら最新情報を得て行動する
Basic Learning で理解を深める

ADEL（日本語版）①

「国内レベル&国際レベルアスリート教育プログラム：日本語版コース」が公開！

 New	 New
国内レベルアスリート向けの ADELコース (JAP)	国際レベルアスリート向け教育プログラム (日本語 / Japanese)
ENROLLED ★ 5.0	ENROLLED 2 courses
 E-Learning	 Education Program

- 国内レベルと国際レベルの内容は、大部分が同じです
(国内レベルのコースを受講しているアスリートが、居場所情報に関するコンテンツを受講したい場合は、RTPコースに飛んで別途受講。国際レベルのコースには、すでにRTPコースの内容が含まれます)
- 各コースの受講には約2時間程度必要です



WADAが世界的に提供しているクリーンスポーツ教育のデジタルプラットフォーム



- ✓ 受講には自身で**アカウント登録**が必要
- ✓ 発行される**修了証**にて受講管理可能
- ✓ 国際競技連盟 (IF) や競技大会出場等の要件として**受講が義務付けられる場合あり**
→「**受講コース**」、「**修了証の有効期間**」は、受講要件を定めた団体に確認が必要 (JADAの場合1年)

ADEL (日本語版) ②

【その他の現在公開中の日本語版コース】

＜RTP - 居場所情報の基本＞		Registered Testing Pool athletes	
アスリートガイド 2021年版世界アンチ・ドーピング規程 (2021Code)における重要な変更点		Athlete's Guide to the 2021 Code	
アスリートサポートスタッフガイド 2021年版世界アンチ・ドーピング規程 (2021Code)における重要な変更点		An Athlete Support Personnel Guide to the Significant Changes in the 2021 Code	
At-a-Glance	アンチ・ドーピング について 重要ポイントの紹介	At-a-Glance: Anti-Doping Overview	
	治療使用特例 (TUE)	At-a-Glance: Therapeutic Use Exemptions (TUE)	
	アスリートの居場所情報	At-a-Glance: Athlete Whereabouts	
Fact sheet	糖質コルチコイドの注射使用	Factsheet for athletes and ASPs - glucocorticoid injection education	
	医療従事者 糖質コルチコイドの注射使用	Factsheet for medical professionals - glucocorticoid injection	

PLAY TRUE Planet (プレイ・トゥルー・プラネット)

専用WEBページがまもなく公開！

スマートフォンや、パソコンからアクセスして、「スポーツの価値」のメッセージを投稿する参加型のアクティビティ



- ✓ 日本の伝統色と模様のアイコンと一緒にメッセージ表現が可能

→誰でも参加しやすい



尊敬



フェアネス



楽しい



友情



決意

など



- ✓ 集まったメッセージをもとに、世界に1つだけのアートが制作されます

東京2020大会の
レガシープロジェクト！



SPORT
FOR
TOMORROW



【活用の例】

- ワークショップでスポーツの価値を考えた後に、自身の考えを投稿させる
- 競技大会のアウトリーチブースで非接触型のアクティビティとして、観客も含めてスポーツの価値を発信する



2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-

Education@playtruejapan.org

マテリアル	活用場面・ツール（例）
①Webバナー  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：競技団体の公式WEBサイトや、競技大会ページ内でJADAクリーンスポーツ・アスリートサイトへのリンクを設置 ■仕様：縦横比固定、サイズは変更可のJPEGデータ ■入手方法：フォームより申請頂きます。教育部宛にご連絡ください。 	 WEBサイト
②啓発ページ  新規制作中 <ul style="list-style-type: none"> ■用途：競技団体のロゴを挿入の上、大会プログラムや刊行誌へ掲載 ■仕様：A1/A4/A5サイズ（カラー及びモノクロ版）の各種ai及びPPTデータ ■入手方法：教育部宛にご連絡ください。 	 競技大会における教育（EBE）
③サインフラッグ  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：アスリートのサインやアンチ・ドーピングのメッセージの記入、写真撮影に使用 ■仕様：W1200×H900mm ■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各3枚送付済 	 競技大会における教育（EBE）
④横断幕  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示 ■仕様：W3000×H900mm ■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各1枚送付済 	 スポーツの価値発信



マテリアル	活用場面・ツール（例）
⑤SNS  #FairPride #iplaytrue <ul style="list-style-type: none"> ■用途：JADA公式Facebook、Twitter、Instagramにてアンチ・ドーピングに関する最新情報や啓発メッセージを確認 ※NFにて情報発信、スポーツの価値の発信をする際は、ぜひ「#FairPride」「iplaytrue」のハッシュタグ付けて発信ください！ 	 競技大会における教育（EBE）  スポーツの価値発信
⑥ポスター  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示 ■仕様：A1/A2サイズ ■入手方法：2020年2月時点での加盟団体様へ2種（A2サイズ）各3枚送付済。アウトリーチキットの1つとしてもお貸出し可能。 ■申請フォーム：https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html 	 競技大会における教育（EBE）
⑦アウトリーチ用クイズ  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：アウトリーチプログラム内で活用（シニア用とジュニア用の2種） ■仕様：ai及びpptデータ ■入手方法：JADA公式WEBサイトより申請 ■申請フォーム：https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html 	 競技大会における教育（EBE）
⑧リアルチャンピオンクイズ  <ul style="list-style-type: none"> ■用途：レベル1～レベル3の難易度で、アスリートやサポートスタッフが様々なシチュエーションにおいてクリーンスポーツ行動がどのようなものかをクイズ形式で学ぶ、確認するWEBアプリ ※問題は定期的に入れ替えを行います ■アスリートサイト：https://www.realchampion.jp/basic-learning/game/quiz/ja/ 	 対面教育  競技大会における教育（EBE）

2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<p>⑨ クリーンアスリートガイド 国内レベルアスリート向け</p> 	<p>■用途：最新のアンチ・ドーピング規程に基づくルールをアスリートが理解し、自身のクリーンスポーツ行動を取れるためのガイドブック</p> <p>■仕様：A5サイズ</p> <p>■入手方法：教育年間計画に基づく冊子申請</p> <p>デジタル版： https://www.realchampion.jp/resources/000211.html</p>
<p>⑩ クリーンアスリートガイド ユースアスリート向け</p> 	<p>■用途：アスリートがアンチ・ドーピングの理念やクリーンスポーツの意義を理解し、最新のアンチ・ドーピング規程に基づき、ルールを学ぶためのガイドブック ■仕様：A5サイズで制作中</p> <p>■入手方法：教育年間計画に基づく冊子申請</p> <p>デジタル版： https://www.realchampion.jp/resources/000212.html</p>
<p>⑪ クリーンスポーツ に参加する みんなの権利リーフレット</p> 	<p>■用途：アンチ・ドーピングにおけるアスリートの権利宣言の内容をイラスト付きで解説</p> <p>■仕様：A4サイズ・28頁</p> <p>■入手方法：ダウンロード可能</p> <p>アスリートサイト： https://www.realchampion.jp/resources/000161.html</p>
<p>⑫ クリーンスポーツ に参加する みんなの権利（動画）</p>	<p>■用途：アンチ・ドーピングにおけるアスリートの権利宣言の内容を動画で解説</p> <p>■仕様：動画</p> <p>■入手方法： アスリートサイト： https://www.realchampion.jp/resources/000205.html</p>



対面教育



WEBサイト



教材

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<p>⑬ 医療従事者 ポータル</p> 	<p>■用途：医療従事者が禁止物質・方法やTUE申請について確認。TUE申請に必要な書類や医療従事者への情報提供用のリーフレットもダウンロード可能</p> <p>■医療従事者向けサイト： https://www.playtruejapan.org/medical-staff/</p>
<p>⑭ JADA公式 Webサイト</p> 	<p>■用途：最新のアンチ・ドーピングに関する情報やJADAからのお知らせが確認できる公式サイト</p> <p>■JADA公式Webサイト： https://www.playtruejapan.org/</p>
<p>⑮ アスリートサイト</p> 	<p>■用途：アスリートやサポートスタッフに必要なスポーツの価値の考え方、知識やルールを分かりやすく解説。ルールや手続きの解説に加えて、学習するコンテンツを掲載</p> <p>■アスリートサイト：https://www.realchampion.jp/</p>
<p>⑯ FAIR PRIDE アスリート インタビュー</p> 	<p>■用途：ロールモデルとなるアスリートがアンチ・ドーピングやスポーツへの価値、自身の価値観を語るインタビュー教材</p> <p>■仕様：動画及びリーフレット（全5種類）</p> <p>■入手方法：JADA公式WEBサイトより視聴可能</p> <p>URL： https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/index.html</p>



対面教育



WEBサイト



教材



競技大会
における教育
(EBE)

2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
⑰ アスリートガイド 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリート向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳） ■仕様：A4サイズ・28頁 ■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト：https://www.realchampion.jp/ 	
⑱ アスリートサポートスタッフガイド 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリートサポートスタッフ向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳） ■仕様：A4サイズ・28頁 ■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト：https://www.realchampion.jp/ 	 対面教育
⑲ At-a-Glance 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：アンチ・ドーピングのルールをトピックスごとにポイントまとめたアスリート向けガイド（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳） 現時点で、「アンチ・ドーピングについて」「治療使用特例」「競技者の居場所情報」の3種公開中 ■入手方法：ADELより閲覧可能 ADEL：https://adel.wada-ama.org/learn 	 教材
⑳ WADA ADEL 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：WADA制作アンチ・ドーピングeラーニングシステムADEL。各教育対象に合わせたeラーニングコースを受講可能 ■利用方法： どなたでもアカウントを登録の上利用可能 ■ADEL：https://adel.wada-ama.org/learn 	 eラーニング (ADEL)

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
㉑ 11トピックス ウェビナー 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：ISEに記載されている11のトピックそれぞれを解説したウェビナー動画。クリーンスポーツ・アスリートサイトとの運動を持たせ、アスリート、サポートスタッフ自身で学習が進められます ■利用方法：JADAクリーンスポーツ・アスリートサイトにおいて公開予定 URL： https://www.realchampion.jp/ 	 ウェブサイト 競技大会 における教育 (EBE)
㉒ PLAY TRUE リレー 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：国や競技、世代の異なる様々なアスリートたちによる、スポーツや人生を通して大切にしている自身の「TRUTH」についてのメッセージ ■入手方法：PLAY TRUE 2020特設サイトより確認可能 URL： https://www.playtrue2020sp4t.jp/ptrelay/jp/library/ 	 競技大会 における教育 (EBE)
㉓ スポーツの価値を つなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：「スポーツの価値」を学び、自分自身で「スポーツの価値」を考えるためのナビゲート動画 ■入手方法： URL： https://www.youtube.com/watch?v=6r8gN24FLX8&t=8s 	 対面教育
㉔ マンガムービー 	<ul style="list-style-type: none"> ■用途：言葉では表現することが難しい「スポーツの価値」を考え、学ぶための、言葉に依拠しないマンガムービー（15本） ■入手方法： URL https://www.youtube.com/user/JADAMovie/videos 	 教材 スポーツの価値発信

2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
<p>②⑤マンガ検査手順</p> 	<p>■用途：将来ドーピング検査を受ける可能性のあるユースアスリートが検査手順を確認。シニアアスリートもいつでもチェック可能</p> <p>■仕様：A4サイズ※掲載のQRコードより動画も確認可能</p> <p>■入手方法：教育部宛にご連絡ください。</p>	<p> 対面教育</p> <p> 競技大会における教育 (EBE)</p> <p> 教材</p>
<p>②⑥マンガ検査手順 (動画)</p> 	<p>■用途：ドーピング検査の対象となるアスリートは誰でも検査手順を確認</p> <p>■仕様：動画</p> <p>■入手方法： https://www.youtube.com/watch?v=UNb6-6saMAg</p>	<p> 教材</p>
<p>②⑦居場所情報提出ガイド</p> 	<p>■用途：RTP/TP向けに、居場所情報のルールと、ADAMS及びAthlete Central（アプリ）を通じた居場所情報の提出・更新方法を解説</p> <p>■仕様：A4サイズ</p> <p>■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト： https://www.realchampion.jp/process/adams</p>	<p> 教材</p>

国際競技大会での教育や日本語以外
(ノンバーバル・ユニバーサル適用) の教材については、
以下サイトにてご確認ください

https://playtrue2020-sp4t.jp/edu_package/



Mar.29, 2021 [NEW "Real Champion Education Package INTRO" Clip](#)

Jun.25, 2020 [NEW Materials \(Based on Rules\) are available, in line with the 2021 World Anti-Doping Code:](#)

Dec.04, 2019 [New Material and Case Example!](#)

多言語にて展開中！

詳細は、JADA教育部までお問い合わせください

＜対応言語の一例＞

- ・英語
- ・フランス語
- ・スペイン語
- ・アラビア語
- ・ロシア語
- ・ベトナム語
- ・マレー語
- ・テトウン語

AND MORE

